

富良野市における調査結果の概要

国語

算数
数学

質問紙

平成29年11月 富良野市学力向上推進プロジェクト

平成29年度 全国学力・学習状況調査の富良野市における調査結果について公表します。

本市では、「学びの大地」に根ざした富良野に育つ3本の木（「知育の木」「情意の木」「健康の木」）のより高い調和を目指しており、今回公表した学力調査結果はその一部です。

学力調査結果は、児童生徒の現時点での一面であり、今後の取組の資料とするものです。この結果を受け今後の本市の教育施策や学校の取組に活かしながら、本市教育を一層充実させて参ります。

また、保護者・市民のみなさまに学習状況・意識調査の結果をお知らせすることにより、富良野市の教育への関心を高め、市民総ぐるみで教育を考えていただく機会にしたいと思えます。

児童生徒の学力向上には、学校・家庭・地域の連携が必要です。今回、学習状況と意識調査（家庭や地域での学習や生活状況）を合わせて公表することで連携体制をより強くしてまいります。

なお、この学力調査の結果は、児童生徒が身につけるべき学力の一部分であり、これによって児童生徒の全てを評価できるものではありませんので、序列化や競争につながることをのまないようご理解をお願いいたします。

調査の概要

◆調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

◆調査の対象

小学校第6学年、中学校第3学年

◆調査の内容

- 教科に関する調査(国語、算数・数学)
 - ・主として「知識」に関する問題（国語A、算数A・数学A）
 - ・主として「活用」に関する問題（国語B、算数B・数学B）
- 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

教科に関する調査結果の概要について

◆教科に関する調査(国語、算数・数学)

【小学校】

国語Aは、全国平均正答率と同等※でしたが、国語B・算数A・算数Bは、全国平均正答率を上回りました。

【中学校】

国語A・国語B・数学A・数学Bの全ての教科において、全国平均正答率と同等※でした。

※ 全国平均正答率との差が3ポイント以内の平均正答率を示します。

本市では、学校教育中期計画の基本理念「自立と共生の未来を拓く 心豊かでたくましい人を育む」のもと、教育の原点である知育・徳育・体育の調和のとれた児童生徒の着実な育成を基本に据え、「全ては子どもたちのために」を合い言葉に、児童生徒の無限の可能性を伸ばす教育の充実に努めてきました。

また、児童生徒が未来を拓き変化の激しい時代をたくましく生き抜く「生きる力」を地域全体で育むために、学びの大地に大きく育つ三本の木としての『富良野市ZERO運動』を推進してきました。その成果は、様々な分野で児童生徒の成長の姿として発現され、それにふさわしい成果や高い評価を各方面から受けてきたところです。

そうした取組のひとつの現れとして、全国学力・学習状況調査において、小学校・中学校ともに全国平均正答率と同等か全国平均正答率を上回る結果となりました。

今後も、これまでの取組の成果を活かしつつ、児童生徒の確かな学びの定着に向けて着実な取組を継続するとともに、学校・家庭・地域が連携し学力向上に努めていきます。

各教科の領域別の状況

小学校国語

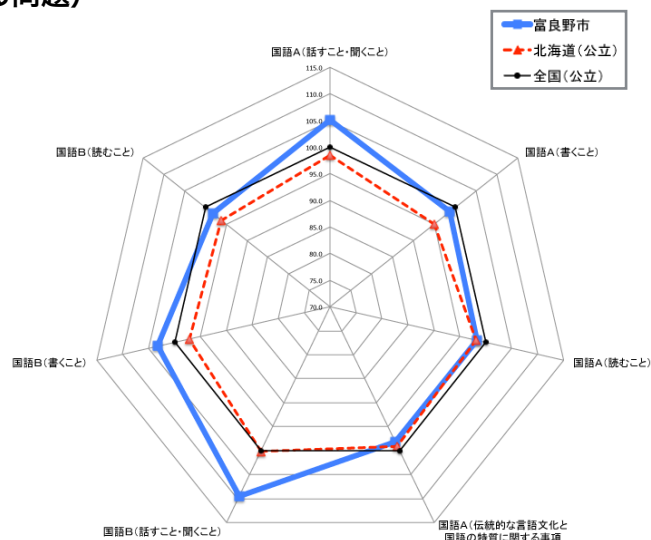
全国を100とした場合の全道及び本市の状況をレーダーチャートで示したのもの
(数値は、「それぞれの平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100」で算出)

○富良野市の小学校国語A(「知識」に関する問題)

- ・国語Aの領域別の問題では、「話すこと・聞くこと」の領域で全国平均正答率を上回り、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域で正答率が同等となっています。

○富良野市の小学校国語B(「活用」に関する問題)

- ・国語Bの領域別の問題では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域で全国平均正答率を上回り、「読むこと」の領域で正答率が同等となっています。



【課題】

国語では、物語を読み、感想を伝え合う中で、自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることに課題が見られることから、互いの考えの共通点や相違点を明らかにしながら、自分の考えを広げたり深めたりすることができるように指導することが大切となる。

小学校算数

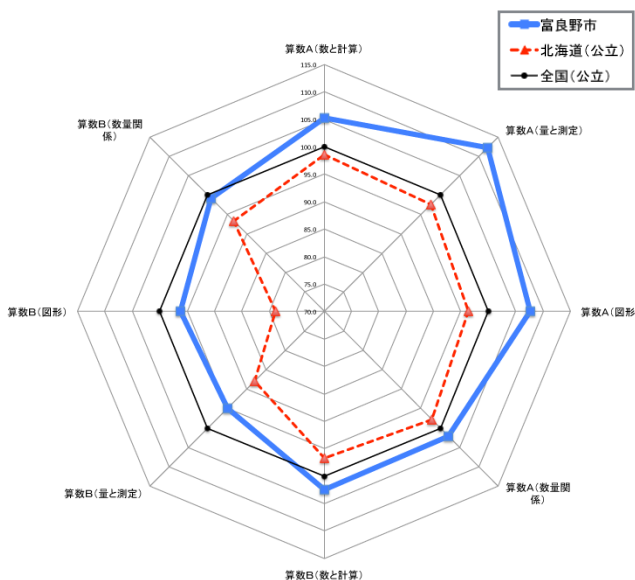
全国を100とした場合の全道及び本市の状況をレーダーチャートで示したもの
(数値は、「それぞれの平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100」で算出)

○富良野市の小学校算数A(「知識」に関する問題)

・算数Aの領域別の問題では、「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の全ての領域で全国平均正答率を上回っています。

○富良野市の小学校算数B(「活用」に関する問題)

・算数Bの領域別の問題では、「数と計算」の領域で全国平均正答率を上回り、「量と測定」「図形」「数量関係」の領域で正答率が同等となっています。



【課題】

算数では、仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述することに課題が見られることから、平均がおよそどのくらいになるのかを見積もったり、基準を変えて計算することで、測定値の平均を工夫して求めるよさを実感したりすることができるように指導することが大切となる。

中学校国語

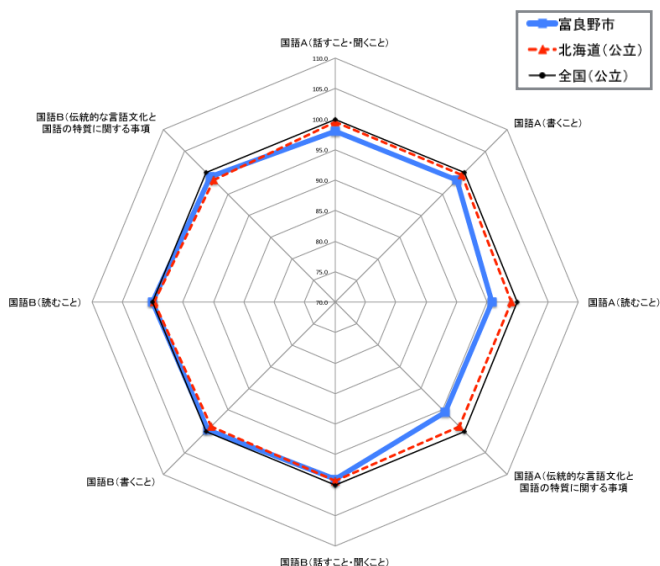
全国を100とした場合の全道及び本市の状況をレーダーチャートで示したもの
(数値は、「それぞれの平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100」で算出)

○富良野市の中学校国語A(「知識」に関する問題)

・国語Aの領域別の問題では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域で正答率が同等、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域で全国平均正答率を下回っています。

○富良野市の中学校国語B(「活用」に関する問題)

・国語Bの領域別の問題では、「読むこと」の領域で全国平均正答率と同値「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域で正答率が同等となっています。



【課題】

国語では、書く目的を意識し、必要な情報を集めるための見通しをもつことに課題が見られることから、何のために文章を書くのかという目的を踏まえるように指導することが大切となる。

中学校数学

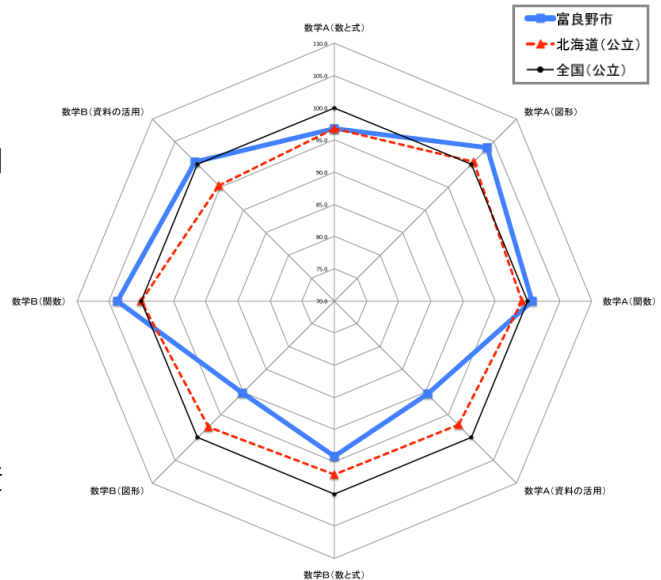
全国を100とした場合の全道及び本市の状況をレーダーチャートで示したものを
(数値は、「それぞれの平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100」で算出)

○富良野市の中学校数学A（「知識」に関する問題）

- ・数学Aの領域別の問題では、「図形」「関数」の領域で全国平均正答率を上回り、「数と式」の領域で正答率が同等となっています。「資料の活用」の領域は全国平均正答率を下回っています。

○富良野市の中学校数学B（「活用」に関する問題）

- ・数学Bの領域別の問題では、「関数」「資料の活用」の領域で全国平均正答率を上回っています。「数と式」の領域で同等、「図形」の領域は全国平均正答率を下回っています。



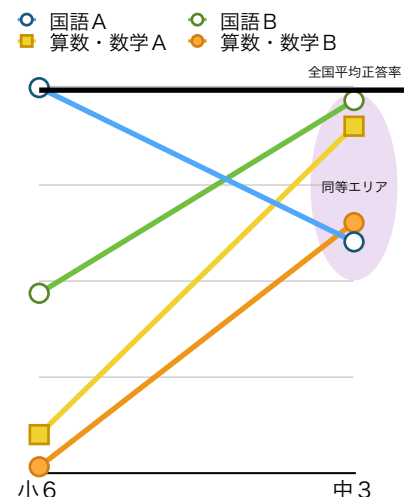
【課題】

数学では、数学的に表現された結果を事象に即して解釈することを通して、事柄が成り立つ理由を説明することに課題が見られることから、事象を数学的に表現したり、数学的に表現された結果を事象に即して解釈したりすることを通して、事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明する活動を充実することが大切となる。

◆小学校6年時(平成26年度)の調査との比較

現中学3年生が3年前の小学6年生で受けた調査(国語A・B、算数A・B)の平均正答率と全国平均正答率との差を比較してみました。小学6年生時点では、国語Aで全国平均正答率と同値、国語B、算数A・Bで全国平均正答率を下回っていました。今回の調査では、全国平均を下回るものの国語B、数学A・Bで全国平均正答率と同等の3ポイント以内まで向上しています。

背景には、生徒の頑張りはもちろんのこと、中学校での教科担任制による専門的な知見に基づく充実した授業展開によるところが大きいと考えられます。さらに、小・中学校を通じて理解の程度に応じたきめ細かな指導や「見通しや振り返り」を位置づけた日常の授業の改善、年間指導計画に基づく「チャレンジテスト」の効果的な活用、学期末・年度末に「まとめの時間」を設定した教育課程の改善、長期休業中の「学習サポート」、家庭との連携による学習習慣や生活習慣の改善等の着実な取組が本市各小中学校に浸透してきている事が挙げられます。



◆調査結果

◇ 道教委では「平均正答率を全国平均以上にする」ことを目標に掲げており、本市の小学校6年では国語B・算数A・算数Bで全国平均正答率を上回り、中学校3年では全国平均正答率を上回らなかったものの同等の成績を修めるなど、確かな成果を上げています。

このことは、授業公開を積極的に進める「地域に開かれた学校づくり」や授業研究を通じた授業改善、「ブックトラック事業」「ブックフェスティバル事業」「学校支援ボランティアの読み聞かせ」等の読書活動の推進、小・中連携の取組、「富良野版キャリア教育」の推進、小規模校での教育の充実、教職員の加配、特別支援教育支援員の配置、長期休業中の「学習サポート」による学習内容の着実な定着、「放課後えいごLAND」「スクールバス乗車時を活用した英語活動」「イングリッシュキャンプ」等による英語教育の推進、演劇的手法を取り入れたワークショップによるコミュニケーション能力の向上、デジタル教科書・電子黒板・タブレット端末等のICT化の推進による成果が着実に現れてきたものと考えられます。

※今後の授業改善の取組

- 学校全体で学力向上に向けた取組を組織的に推進していくため「学力向上推進委員会」を組織し、児童生徒の状況をきめ細かく把握し、指導の改善充実を図っていきます。
- 授業ごとに「つけたい力」を明確にし、到達させるための手立てを講じていきます。
- 「根拠」に基づいて「理由」をつけて考えを書いたり話したりする場面を積極的に取り入れた授業を工夫していきます。
- 授業中に児童生徒の理解の状況を丁寧に見取り、定着の状況を把握し、実態に即した意図的な働きかけをしていきます。
- 児童生徒が「分かった、できた」を実感できるように授業に「まとめ」と「振り返り」を位置づけていきます。
- 学校での学習の効果を高めるため、児童生徒の家庭学習の状況を的確に把握し、児童生徒や保護者に対して適切に助言したり、学習内容の確実な定着や家庭での学習の機会を確保するための『宿題』や『課題』を設定します。

この調査結果を踏まえ、学力向上に向けた取組を、『第2次富良野市学校教育中期計画(平成25年度～平成29年度)』及び『富良野市ZERO運動』を基軸とし、充実した教育活動が展開できるよう推進していきます。

『第2次富良野市学校教育中期計画(平成25年度～平成29年度)』

学校教育中期計画(平成20年度～平成24年度)は、「自立と共生の未来を拓く、心豊かでたくましい人を育む」ことを基本理念に掲げ、策定された計画です。この間の成果と課題を土台とし、子どもたちが変化の激しい時代をたくましく生き抜き、自らの未来や社会を拓く「生きる力」をオール富良野で育てていくため、第2次学校教育中期計画(平成25年度～平成29年度)を策定しました。

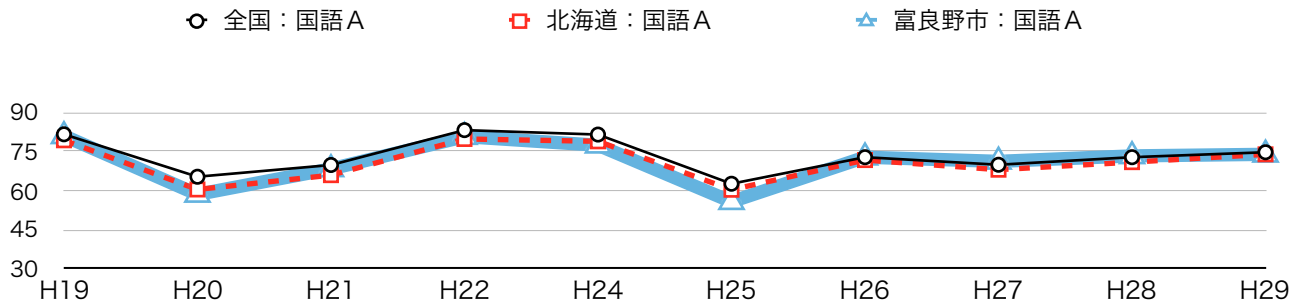
『富良野市ZERO運動』

ZERO「0」は、教育の原点であり、和(輪)を表わす「学び」を支える象徴として捉えることができます。「ZERO運動」は、各学校や教職員等が、教育の原点を見つめ直し、主体性や向上性を基軸として教育実践の輪を広げていくことを意味しています。

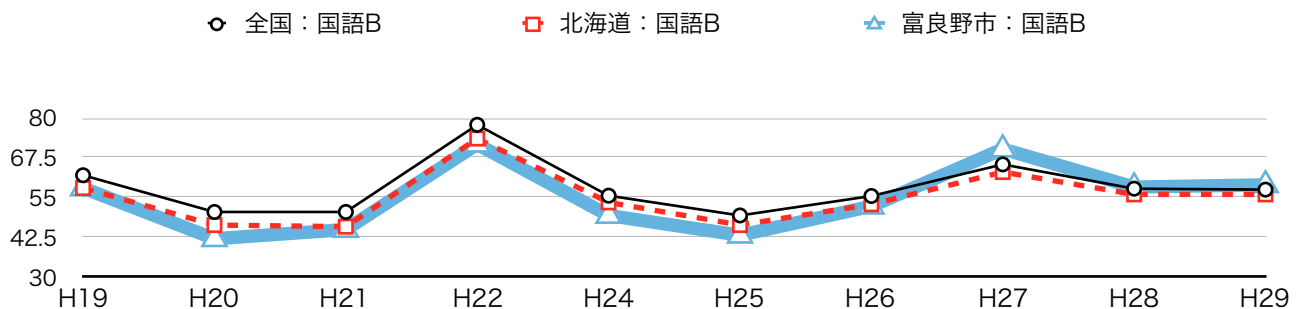
◆学力・学習状況調査の経年変化

小学校

国語A

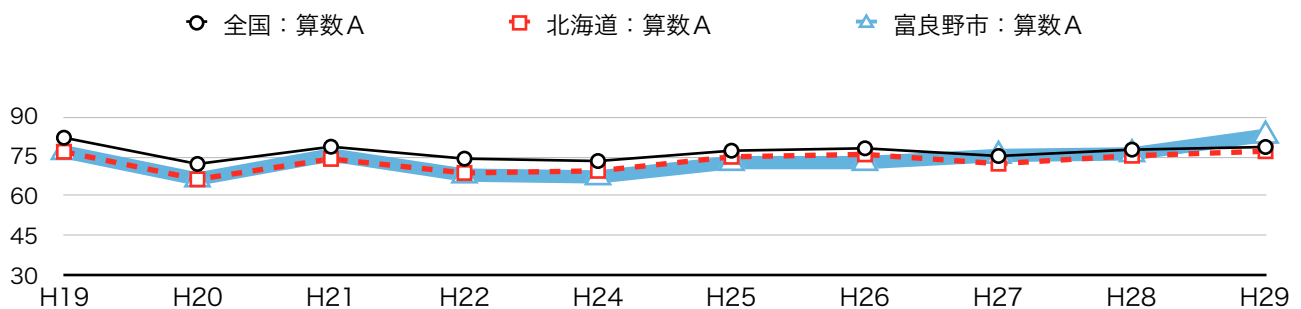


国語B

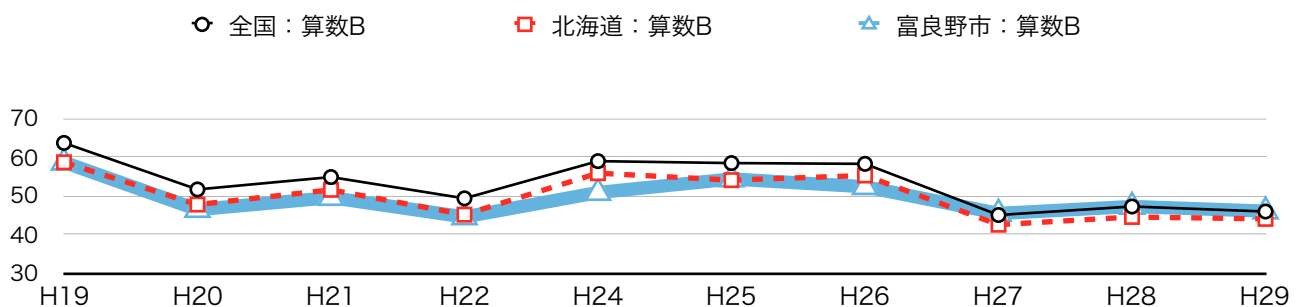


小学校国語Aは、今回の調査を含め10回の調査結果のうち7回全国平均正答率を上回るか同等の成績をおさめています。小学校国語Bは、今回の調査を含め3年連続で、全国平均正答率を上回る成績をおさめています。

算数A

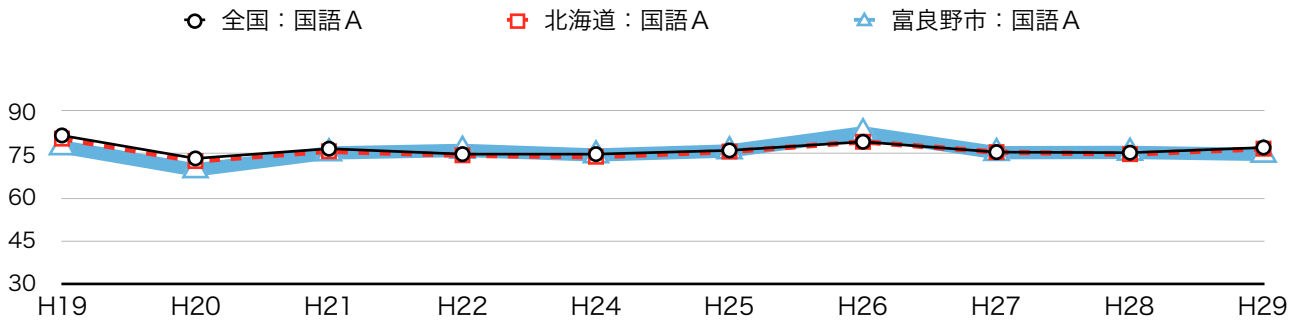


算数B

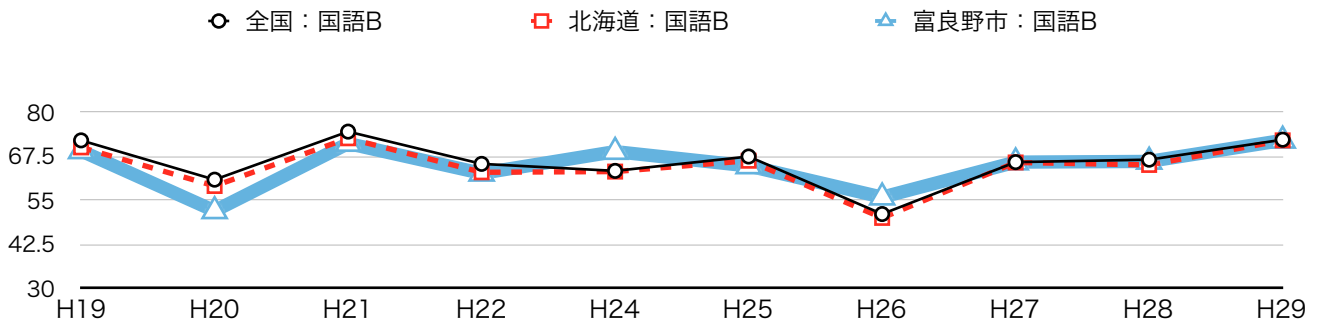


小学校算数Aは、今回の調査を含め3年連続で、全国平均正答率を上回るか同等の成績をおさめています。小学校算数Bは、今回の調査を含め3年連続で、全国平均正答率を上回るか同値の成績をおさめています。

中学校 国語A

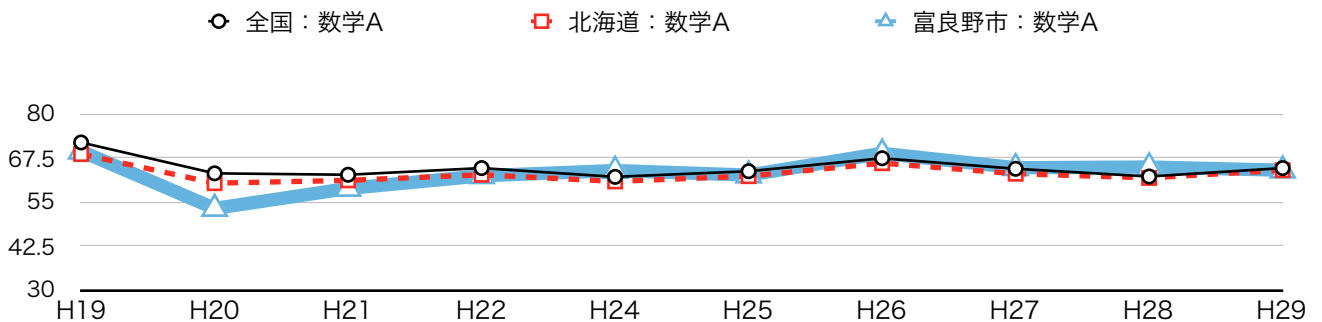


国語B

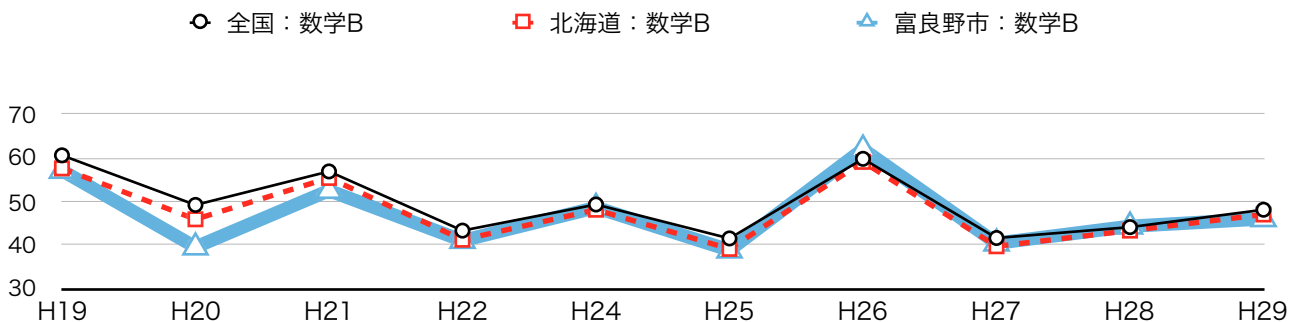


中学校国語Aは、今回の調査を含め10回の調査結果のうち8年連続で全国平均正答率を上回るか同等の成績をおさめています。中学校国語Bは、今回の調査を含め8回全国平均正答率を上回るか同等の成績をおさめています。

数学A



数学B

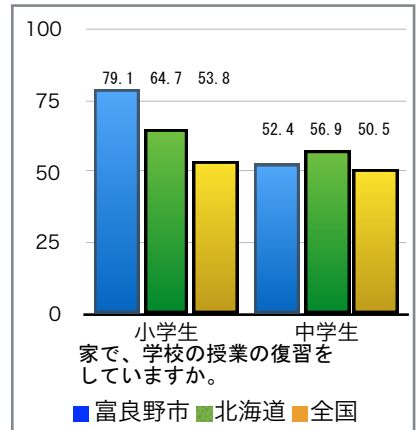
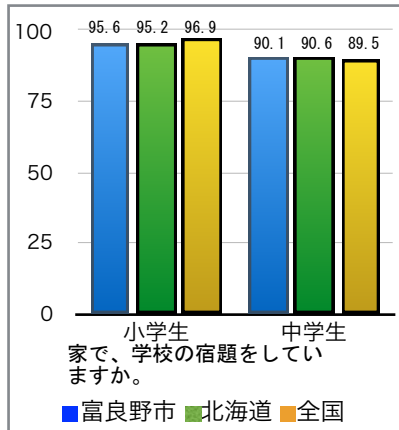
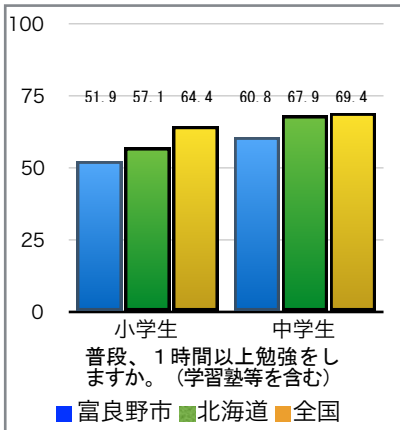


中学校数学Aは、今回の調査を含め10回の調査結果のうち8回全国平均正答率を上回るか同等の成績をおさめています。中学校数学Bは、今回の調査を含め7年連続で全国平均正答率を上回るか同等の成績をおさめています。

児童・生徒質問紙調査に関する結果の概要について

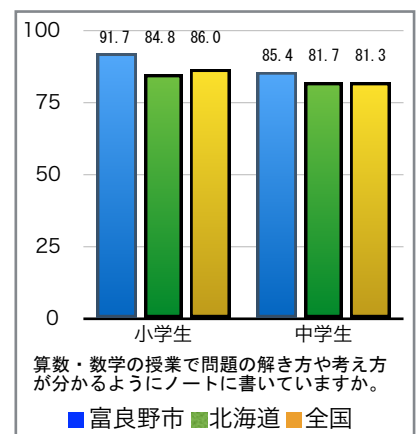
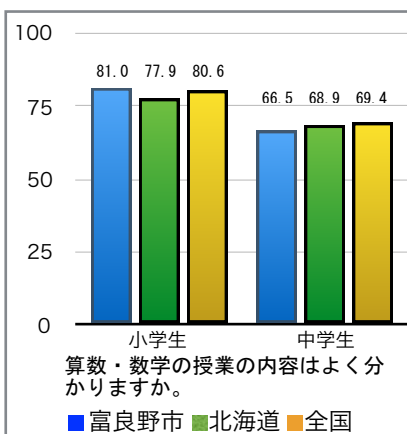
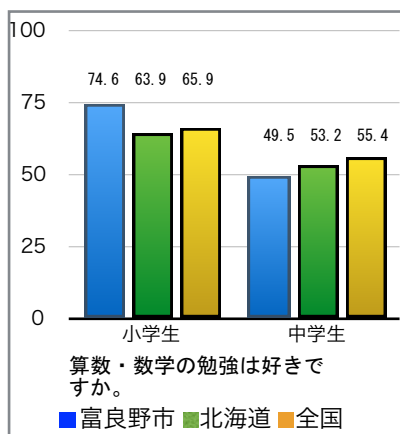
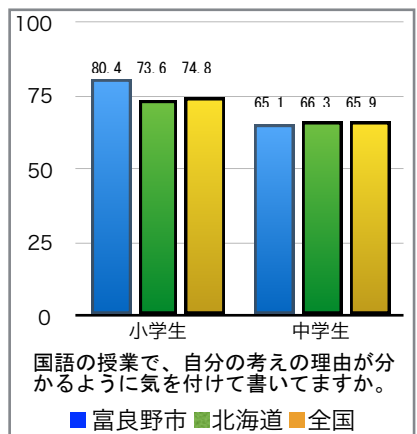
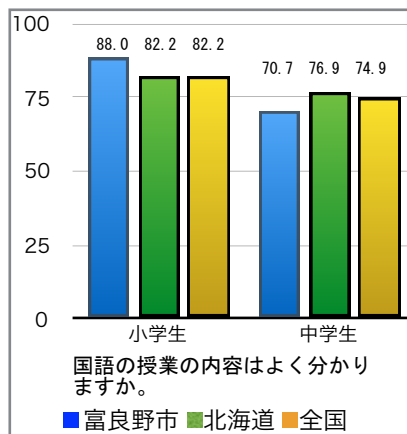
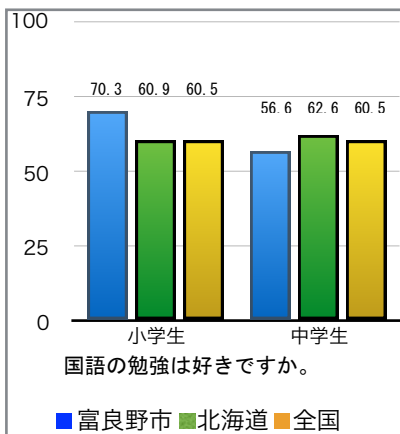
○学習習慣について

※グラフの数値は、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合です。



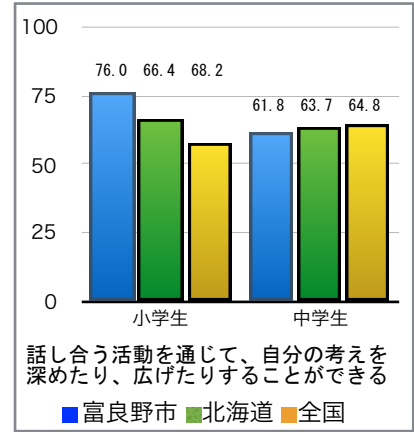
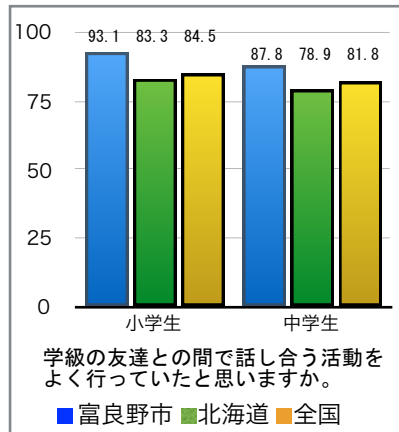
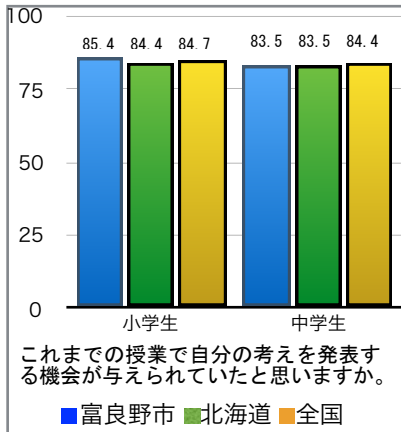
宿題に取り組む割合が昨年度（小：97.8、中：95.0）より低くなっている状況が見られます。復習に取り組む割合は昨年度より小学生で5.4ポイント高くなっていますが、中学生では9.1ポイント低くなっています。特に1時間以上勉強する割合が小・中学生ともに全道・全国より低くなってしまったことから、学年に応じた学習時間を確保するため、家での過ごし方の見直しを含めた家庭の一層の協力が求められます。

○学習（国語、算数・数学）について



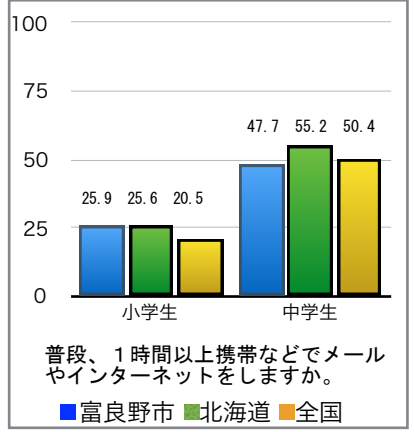
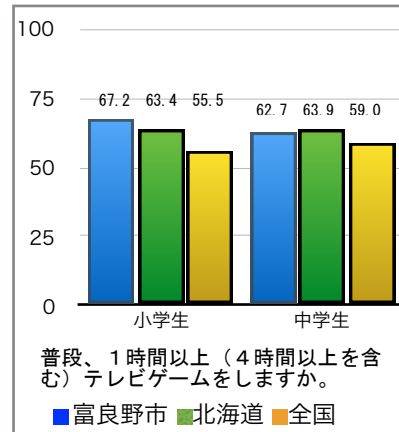
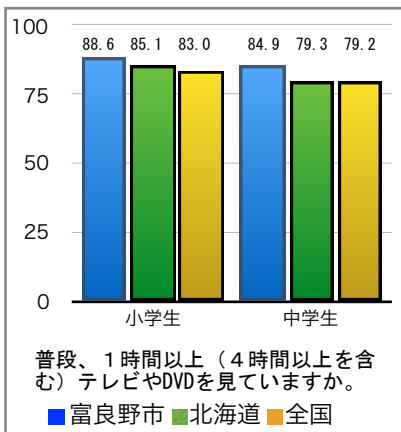
学習への意欲や授業の理解の程度について小学生に比べて中学生が低い傾向が見られるのは、学習内容の難易度が高くなることに起因していると考えられます。また、算数・数学で「解き方や考え方をノートに書く」割合が高いことから、学校での授業改善の成果が現れていると考えられます。

○学校での授業全般について



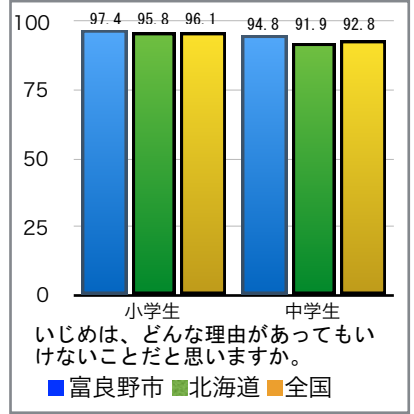
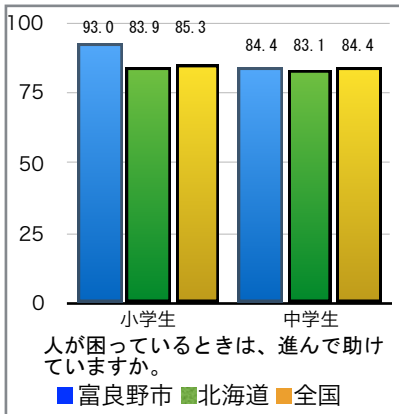
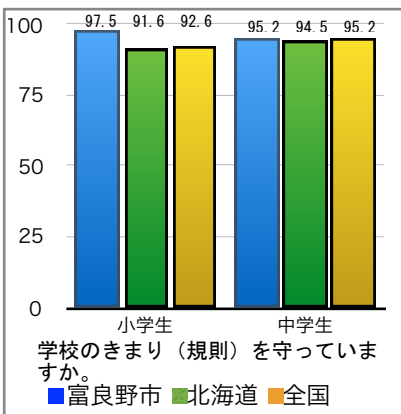
少年の主張・子ども未来づくりフォーラム・新聞コンクール・演劇教育等の取組を通して、大勢の前で表現する機会を設定してきた取組や、児童生徒の学びへの意欲を高め、主体的に学ぶ授業づくりの成果がこの数値となったと受け止めています。

○家庭でテレビやゲーム・インターネットに充てる時間



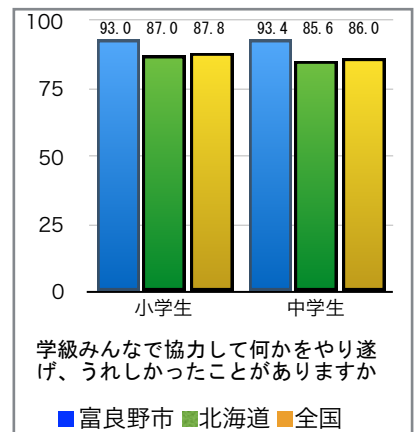
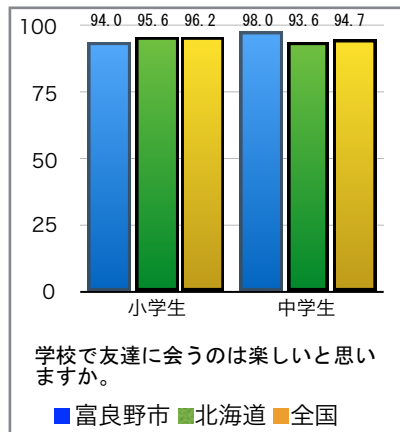
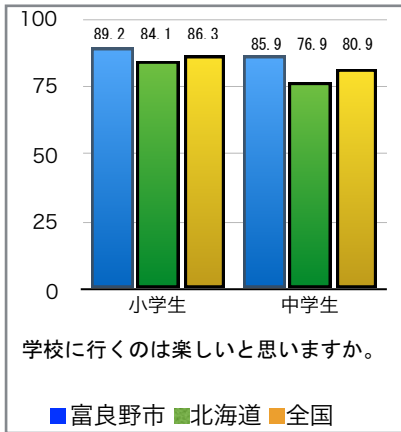
前年度より更に増えて、1時間以上TV視聴する児童生徒が80%を超えています。また、1時間以上テレビゲームをしている児童生徒が60%以上であることから、過半数の児童生徒が家庭で過ごす時間の2時間以上をテレビやゲームに充てていることになります。また、1時間以上メールやネットをする小学生は昨年度より増え、中学生では微減したものの半数近くいることから家庭におけるゲーム等の利用時間についての対応を家庭と連携して取り組まなければなりません。

○児童生徒の規範意識について



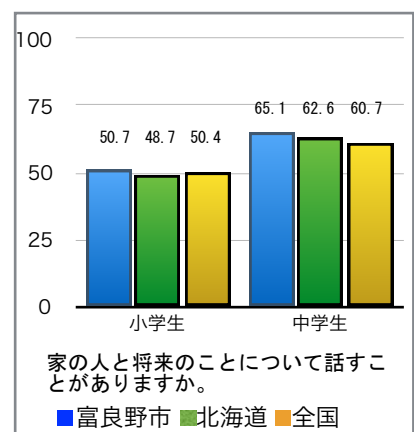
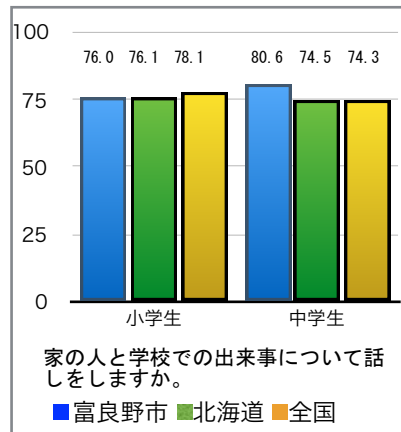
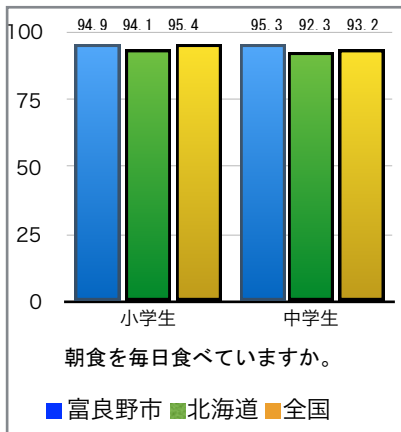
いずれの質問項目についても、小・中学生ともに、全国平均と同値か上回る回答になっているのは、「ZERO運動」・「道徳教育」・「特別活動」・「生徒指導」など、学校での日常的な取組の成果が現れたものと受け止めています。

○学校・学級への所属意識



学級での友達との関わりのよさや、仲間と協力して成し遂げた達成感を味わう等の体験が、学校生活への充実感や学校・学級への所属意識の高さにつながっていると考えられます。

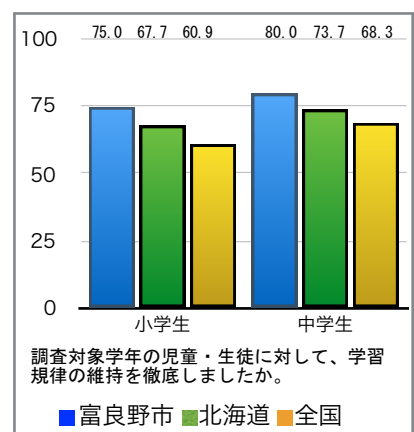
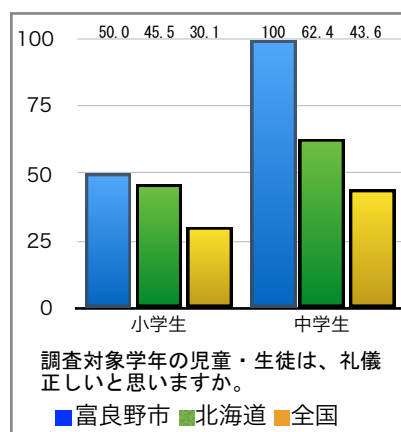
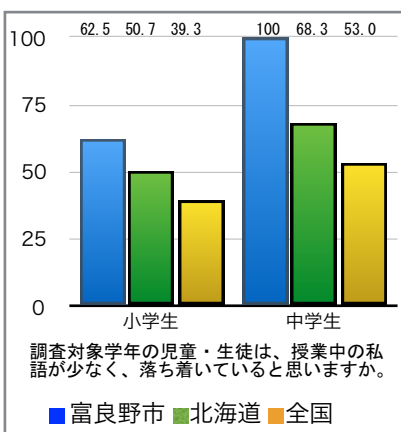
○家庭での様子



児童生徒の成長にとって重要な存在である家庭での状況を見ると、朝食の習慣、学校の様子や将来の事について親と会話をする割合が全国平均と比べて高い傾向にあります。

○【学校質問紙】（管理職の認識）

※グラフの数値は、「その通りだと思う」と回答した割合です。



小・中学生ともに、学校生活において礼儀正しく過ごし授業態度も落ち着いていて真面目に学習に取り組んでいる様子が見え、日頃の学校生活での過ごし方のよさが、本市児童生徒の成績が全国平均正答率と同等か上回ったことにつながっているとと言えます。また、「私語をしない、話しをしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど」の指導が適切に行われていることが確認できました。

生活習慣・学校生活等と学力との相関

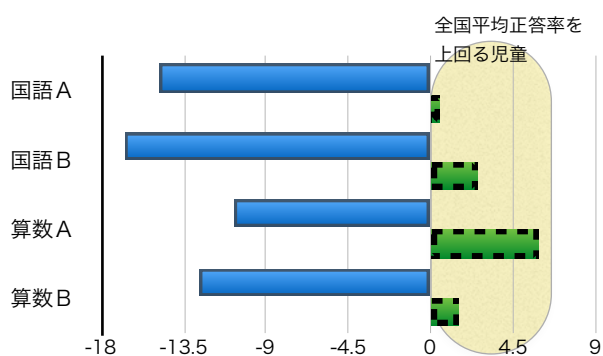
生活習慣が、学力にどのような影響を及ぼすのかを分析したグラフを以下に示します。

グラフが示す数値は、児童質問紙調査で各質問項目の下記に示す選択肢に「当てはまる」と回答した本市児童生徒のそれぞれの項目について、教科に関する調査の平均正答率と全国平均正答率との差を求めたものです。

○朝食を毎日食べていますか

小学生

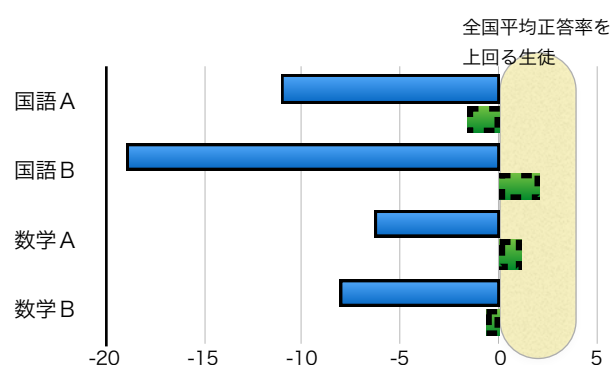
■ あまり食べない ■ 毎朝食べる



○朝食を毎日食べていますか

中学生

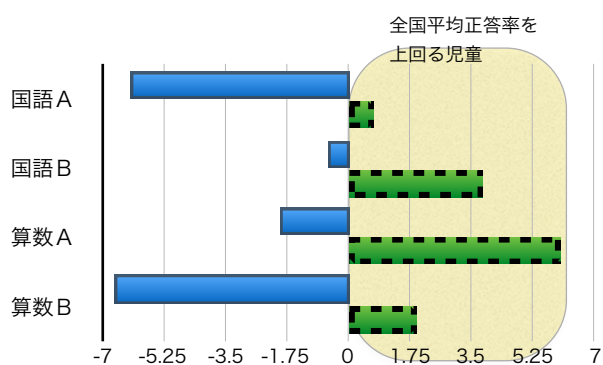
■ あまり食べない ■ 毎朝食べる



○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

小学生

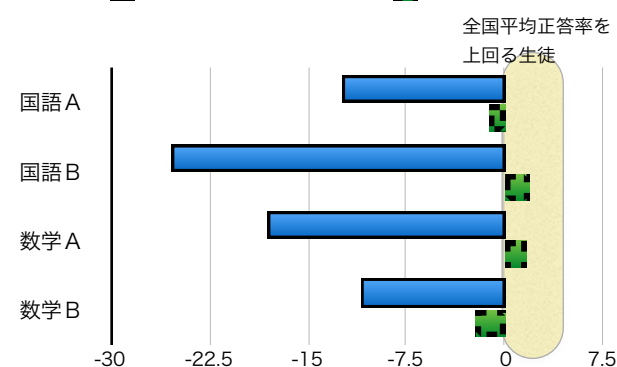
■ あまりしていない ■ している



○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

中学生

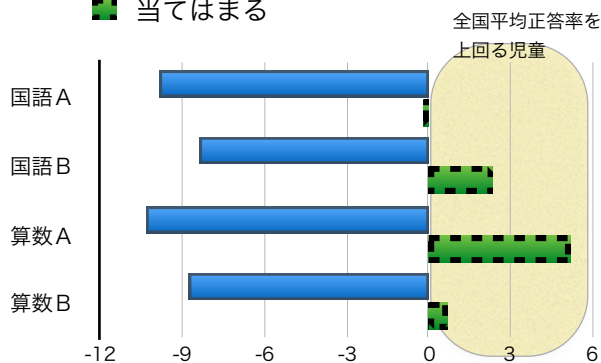
■ 全くしていない ■ している



○自分にはよいところがあると思いますか

小学生

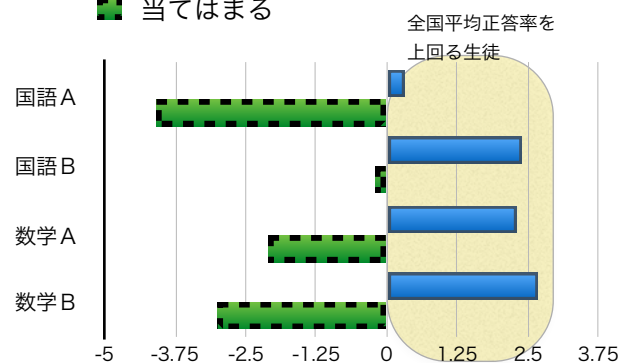
■ どちらかと言えば当てはまらない ■ 当てはまる



○自分にはよいところがあると思いますか

中学生

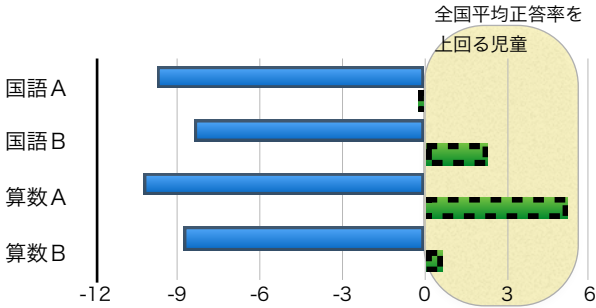
■ どちらかと言えば当てはまらない ■ 当てはまる



○将来の夢や目標を持っていますか

小学生

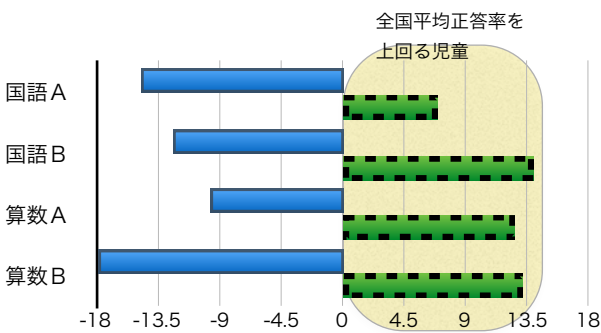
■ どちらかといえば当てはまらない
■ 当てはまる



○平日にテレビゲーム等にあてる時間

小学生

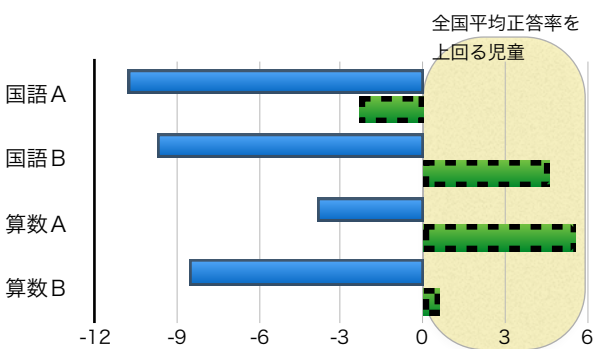
■ 4時間以上
■ 1時間以下



○平日のスマートフォンの使用時間

小学生

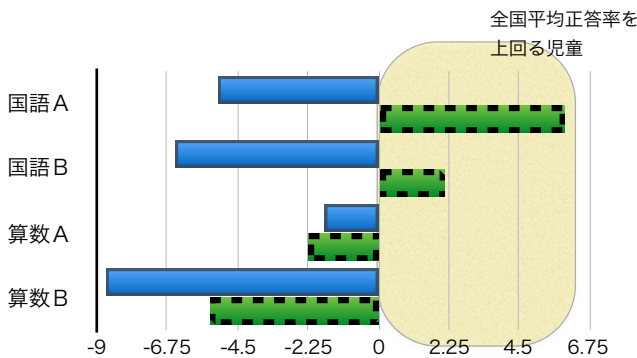
■ 3～4時間
■ 持っていない



○平日の家庭学習にあてる時間

小学生

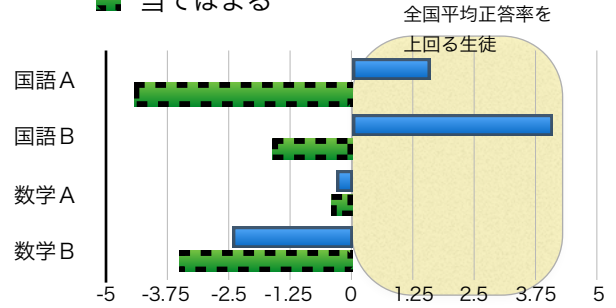
■ 30分以下
■ 2～3時間



○将来の夢や目標を持っていますか

中学生

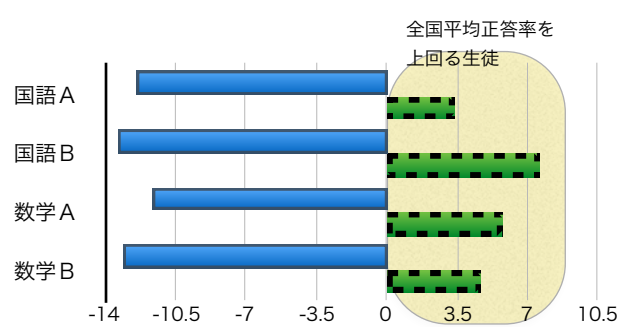
■ どちらかといえば当てはまらない
■ 当てはまる



○平日にテレビゲーム等にあてる時間

中学生

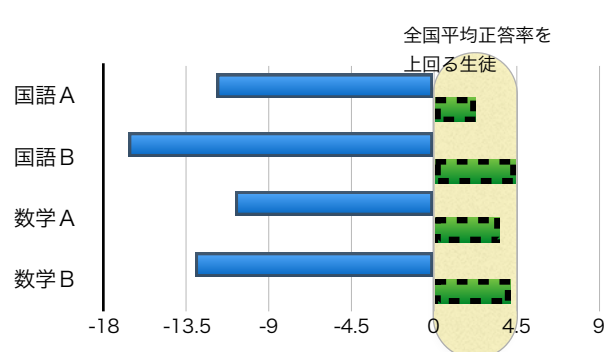
■ 4時間以上
■ 1時間以下



○平日のスマートフォンの使用時間

中学生

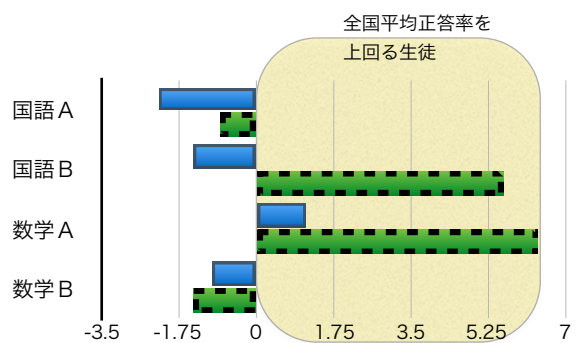
■ 4時間以上
■ 持っていない



○平日の家庭学習にあてる時間

中学生

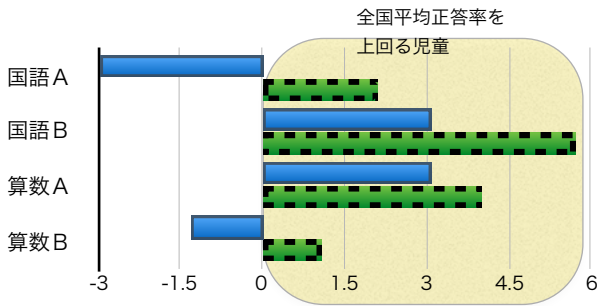
■ 30分以下
■ 2～3時間



○平日に読書にあてる時間

小学生

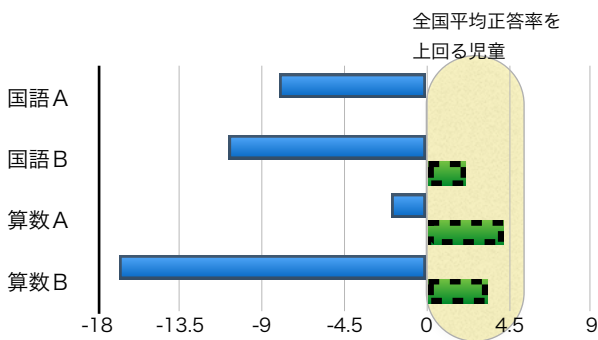
■ 全くしない ■ 1～2時間



○家から学校までの通学時間

小学生

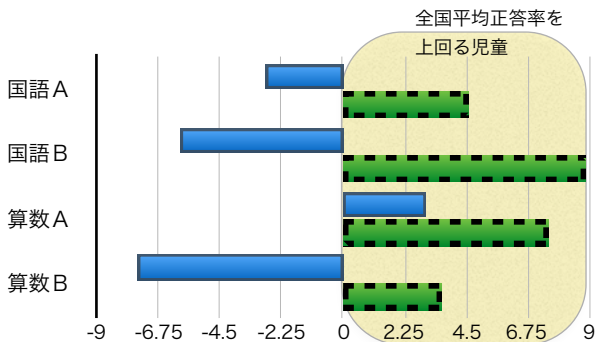
■ 45分～1時間 ■ 15分以下



○家の人と学校での出来事について話をする

小学生

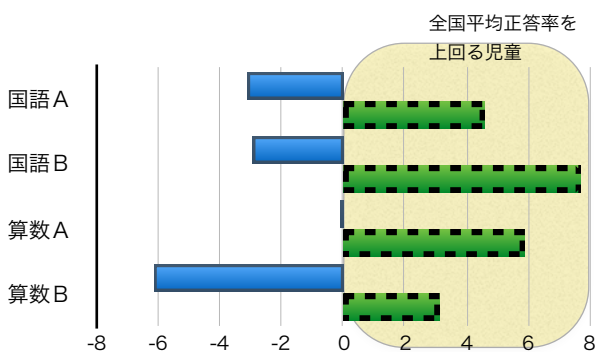
■ あまりしていない ■ している



○テレビゲームをする時間の家族との約束

小学生

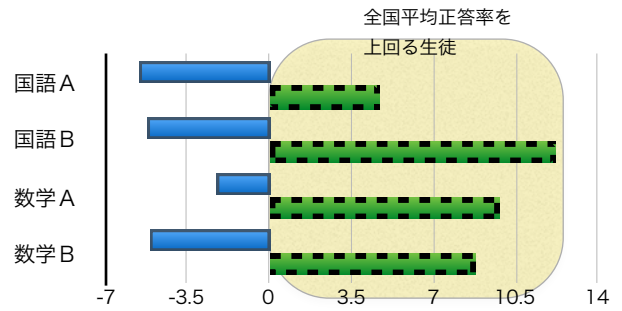
■ 全く決めていない ■ 決めている



○平日に読書にあてる時間

中学生

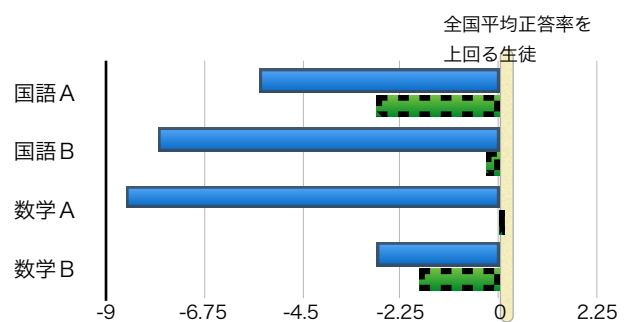
■ 全くしない ■ 1～2時間



○家から学校までの通学時間

中学生

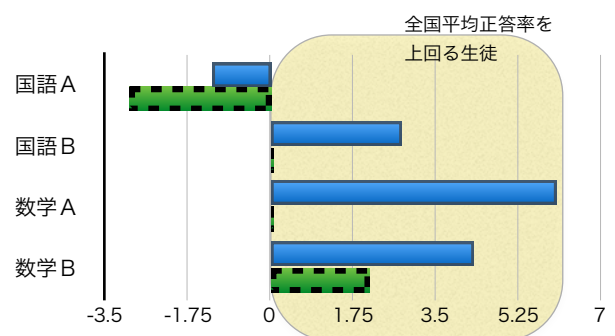
■ 45分～1時間 ■ 15分以下



○家の人と学校での出来事について話をする

中学生

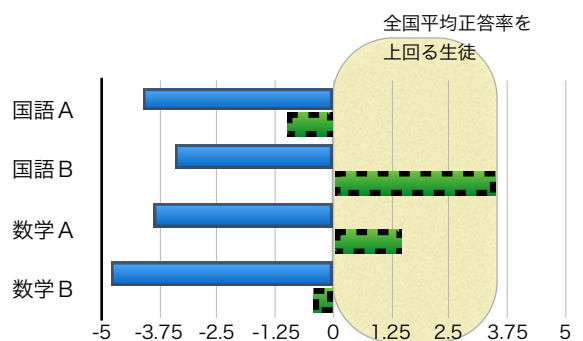
■ あまりしていない ■ している



○テレビゲームをする時間の家族との約束

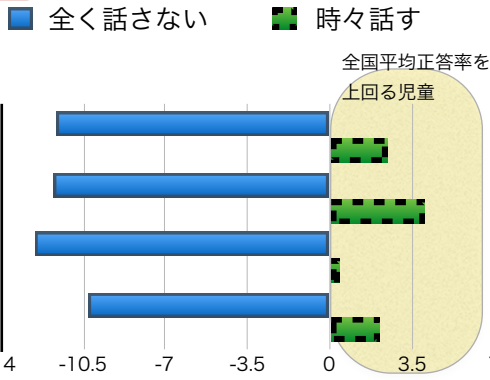
中学生

■ 全く決めていない ■ 決めている



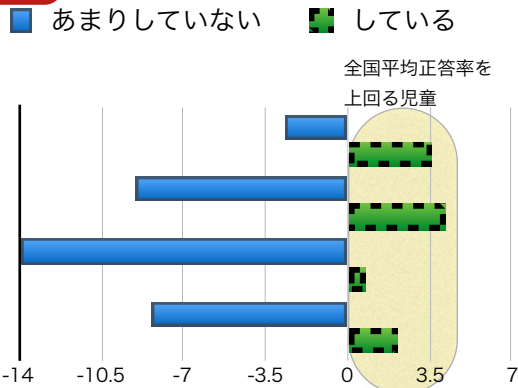
○家の人と将来のことについて話す

小学生



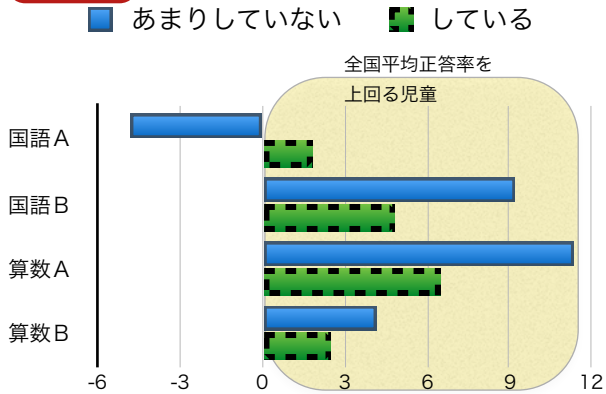
○家で、計画を立てて勉強している

小学生



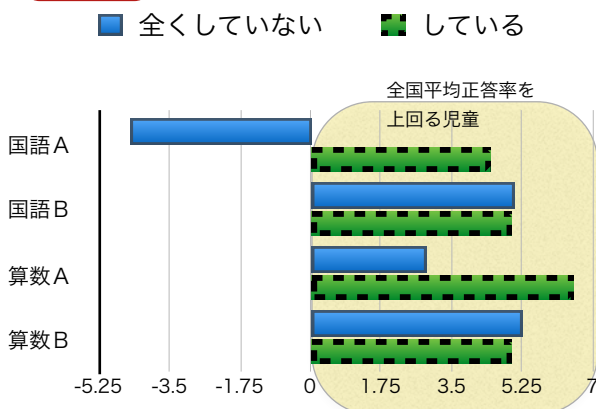
○家で、学校の宿題をしている

小学生



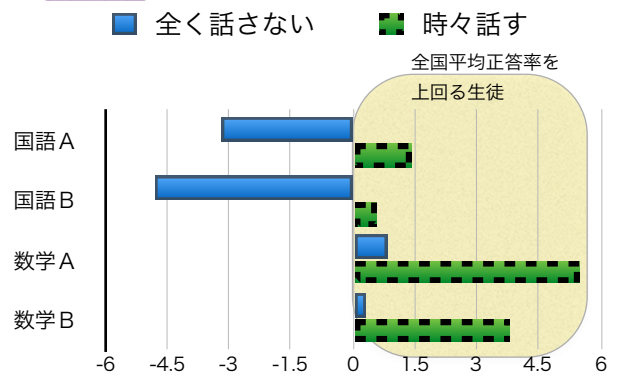
○家で、学校の授業の予習をしている

小学生



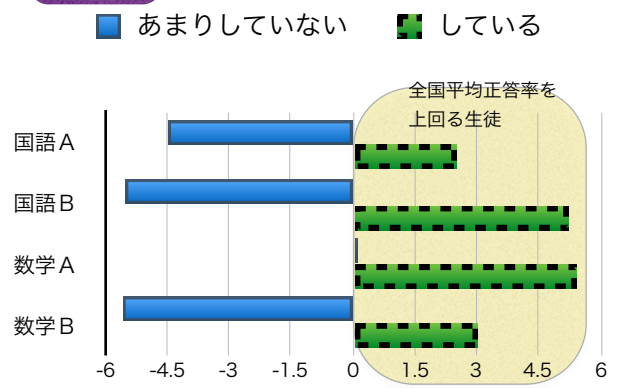
○家の人と将来のことについて話す

中学生



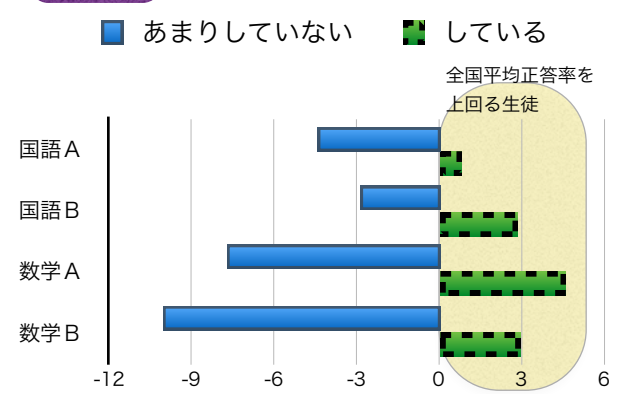
○家で、計画を立てて勉強している

中学生



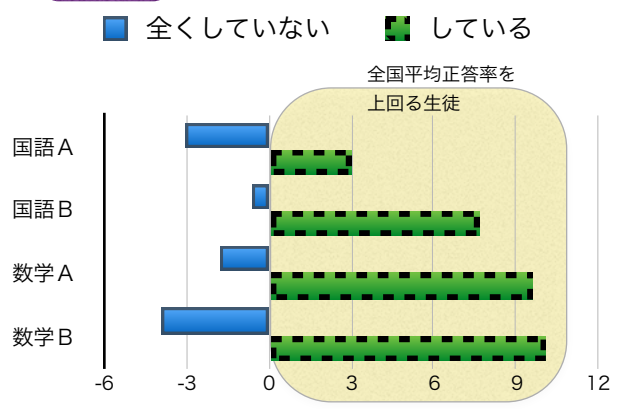
○家で、学校の宿題をしている

中学生



○家で、学校の授業の予習をしている

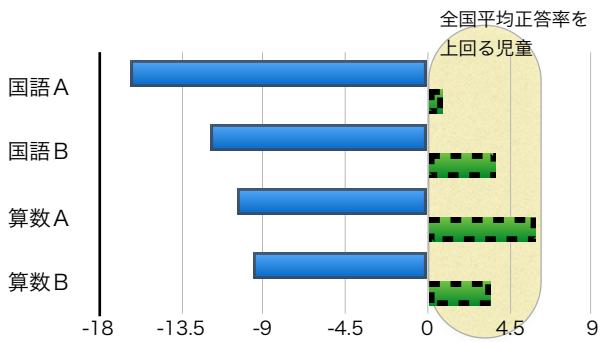
中学生



○家で、学校の授業の復習をしている

小学生

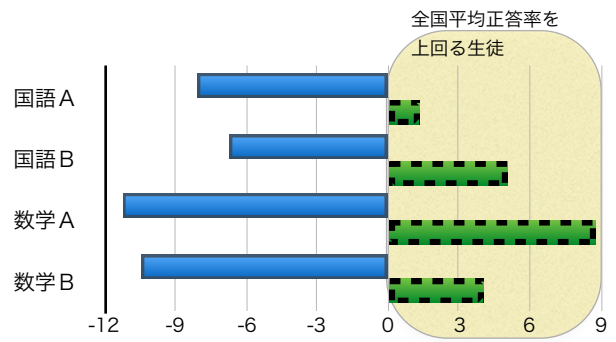
■ 全くしていない ■ している



○家で、学校の授業の復習をしている

中学生

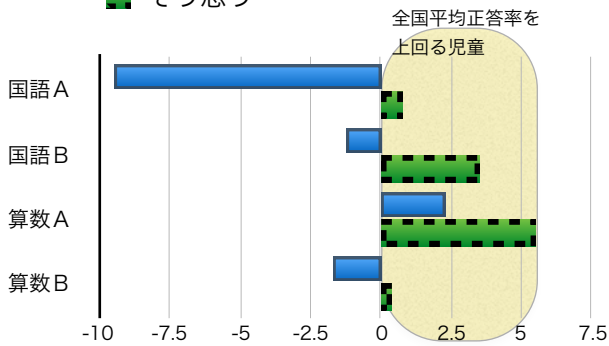
■ 全くしていない ■ している



○学校に行くのは楽しい

小学生

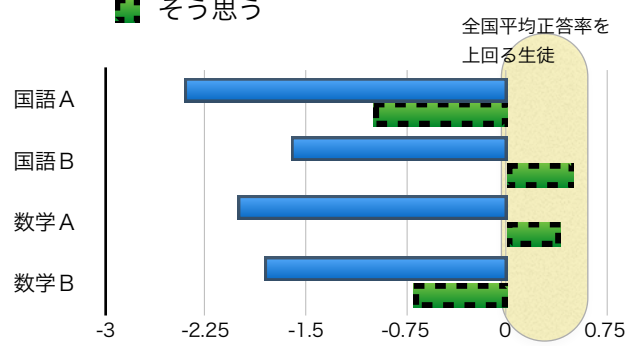
■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思う



○学校に行くのは楽しい

中学生

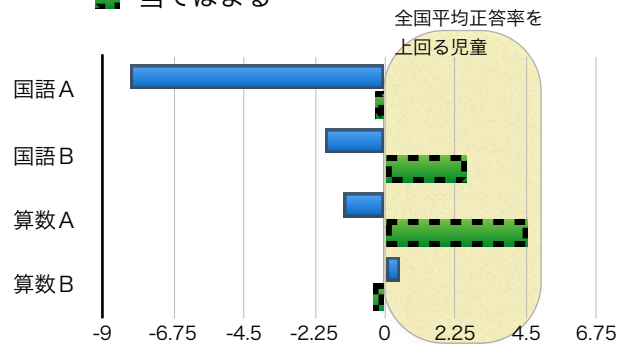
■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思う



○やり遂げて、うれしかったことがある

小学生

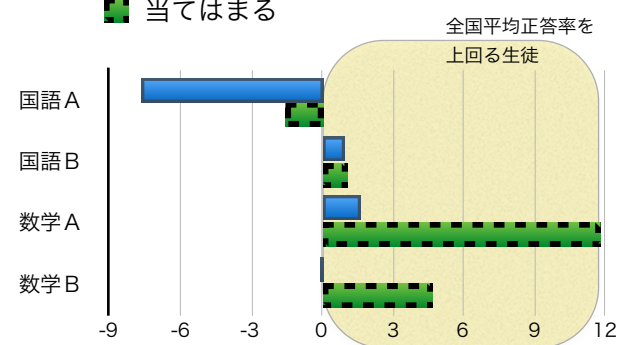
■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまる



○やり遂げて、うれしかったことがある

中学生

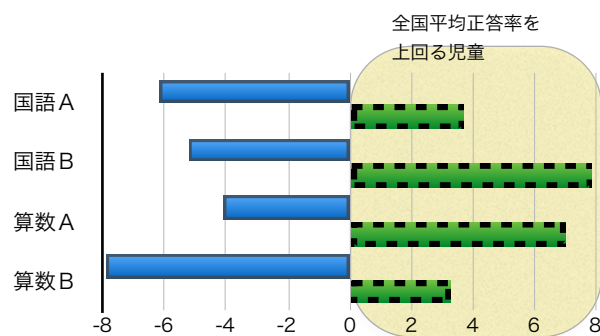
■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまる



○地域や社会の出来事に関心がある

小学生

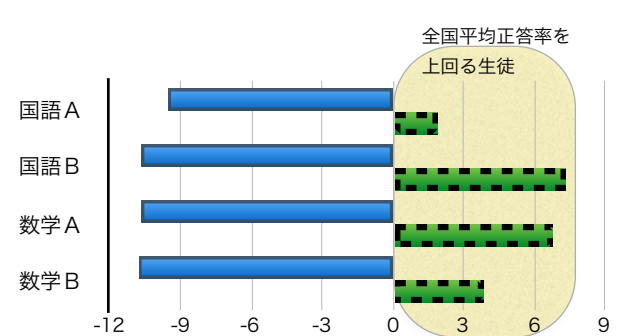
■ 当てはまらない ■ 当てはまる



○地域や社会の出来事に関心がある

中学生

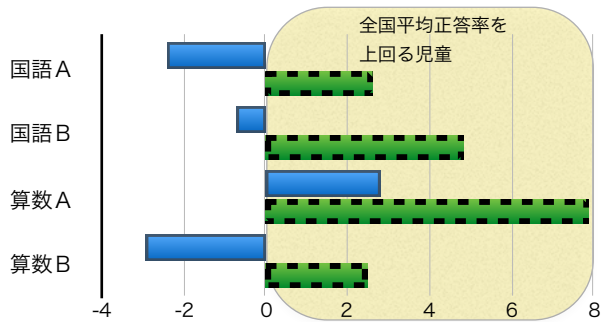
■ 当てはまらない ■ 当てはまる



○ボランティア活動に参加した経験

小学生

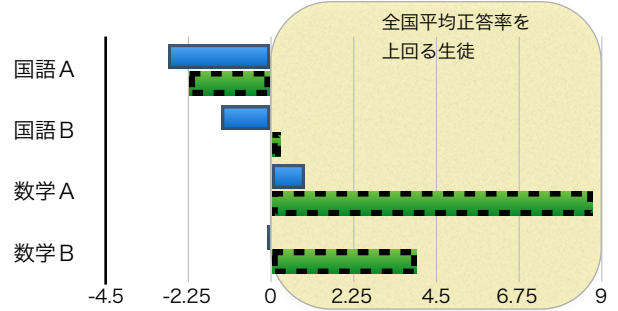
■ 参加したことがない
■ 参加したことがある



○ボランティア活動に参加した経験

中学生

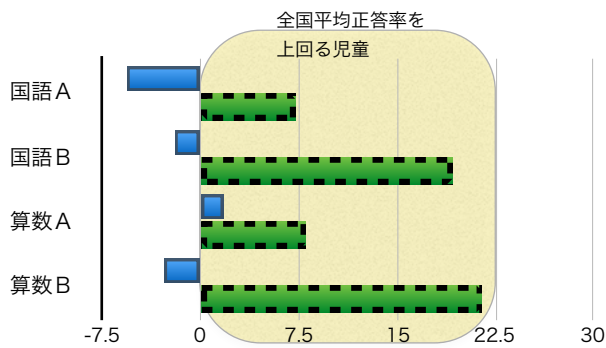
■ 参加したことがない
■ 参加したことがある



○新聞を読んでいる

小学生

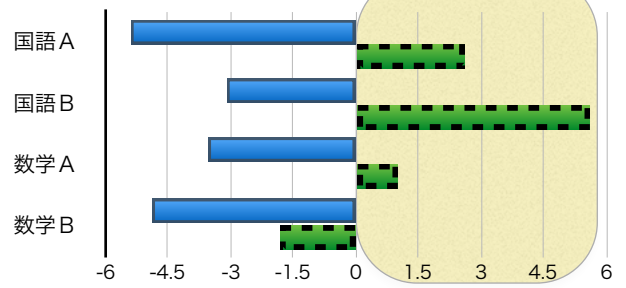
■ 全く読まない
■ ほぼ毎日



○新聞を読んでいますか

中学生

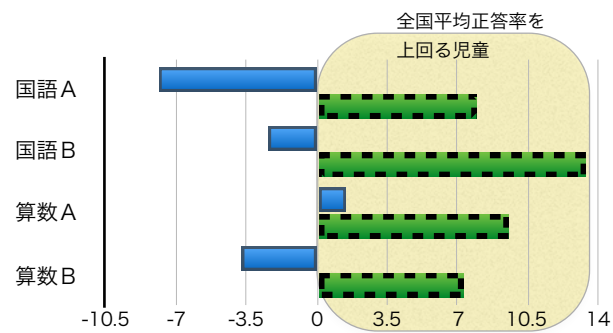
■ 全く読まない
■ ほぼ毎日



○原稿用紙2～3枚書くことは難しい

小学生

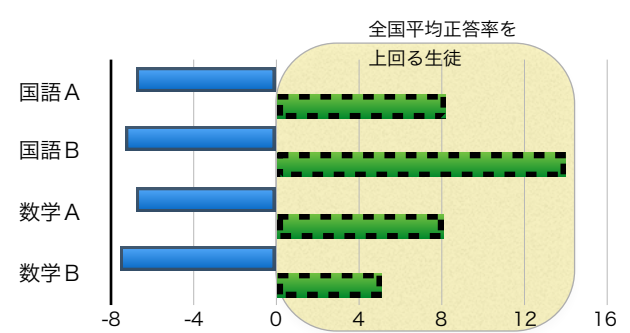
■ そう思う
■ そう思わない



○原稿用紙2～3枚書くことは難しい

中学生

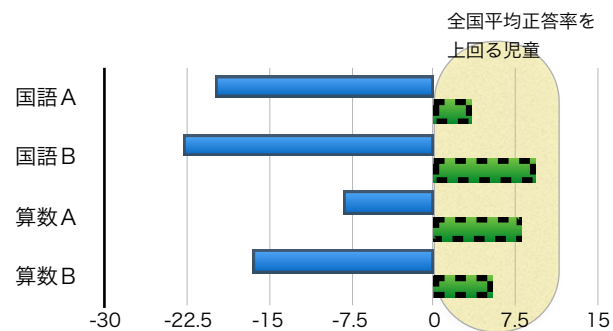
■ そう思う
■ そう思わない



○読書が好き

小学生

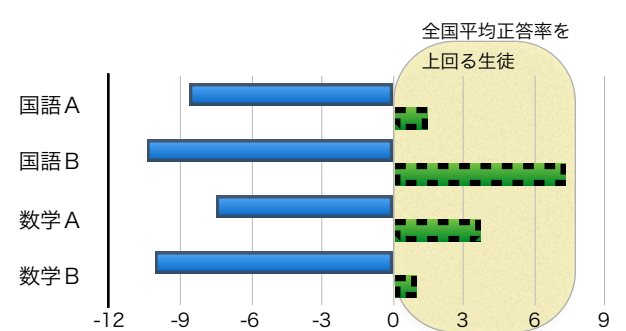
■ 当てはまらない
■ 当てはまる



○読書が好き

中学生

■ 当てはまらない
■ 当てはまる



○朝食を毎日食べていますか ・○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

家庭での過ごし方と学力の相関をみると、小学生では「朝食を毎日食べ(88.6%)」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている(44.3%)」児童のほうが、そうでない児童に比べ全国平均正答率を上回っています。

中学生では、「朝食をあまり食べない(2.4%)」「就寝時刻が決まっていない(6.6%)」生徒は全国平均正答率を下回っていますが、「朝食を毎日食べている(80.2%)」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている(31.1%)」生徒も国語A・数学Bで全国平均正答率を下回っています。

○自分にはよいところがあると思いますか ○将来の夢や希望を持っていますか

自己肯定感と学力との相関をみると、「自分にはよいところがある(41.8%)」「将来の夢や目標を持っている(77.8%)」と回答した小学生の方が、明らかに全国平均正答率との差が少ないか、全国平均正答率を上回っています。中学生では、思春期の複雑な心情も影響しているのか「自分にはよいところがありません(27.8%)」と自己評価している生徒の方が全国平均正答率を上回っています。「将来の夢や目標を持っている(45.3%)」と回答した生徒の成績が全ての領域で全国平均正答率を下回っていることから、キャリア教育の一層の充実が求められます。

○平日にテレビゲーム等に充てる時間 ○平日のスマートフォンの使用時間

○平日の家庭学習に充てる時間

平日のメディア機器等に触れる時間と家庭学習に充てる時間の相関をみてみました。「平日4時間以上テレビゲームをしている」と回答した小学生(8.9%)・中学生(11.3%)ともに全国平均正答率を下回りました。また、「平日テレビゲームをしている時間が1時間以下」と回答した小学生(23.4%)・中学生(25.5%)は、ともに全国平均正答率を上回りました。

「平日のスマートフォンの使用時間」については、3～4時間使っている小学生(6.3%)、4時間以上使っていると中学生(9.0%)ともに、全国平均正答率を下回っています。「スマートフォンを持っていない」と回答した中学生(20.3%)は、全ての領域で全国平均正答率を上回っていますが、小学生(39.2%)では国語Aで全国平均正答率を下回りました。

「平日2～3時間家庭学習に充てる」と回答した小学生(10.1%)は算数A・Bで、中学生(10.4%)は国語A・数学Bで全国平均正答率を下回りました。

○平日に読書に充てる時間

読書と学力の相関をみると、「平日に1～2時間読書をする」と回答した小学生(8.2%)・中学生(7.1%)ともに、全ての領域で全国平均正答率を上回っていますが、「平日にまったく読書をしな」と回答した小学生(19.6%)も国語B・算数Aで全国平均正答率を上回りました。

○家から学校までの通学時間

通学時間と学力との相関をみると、「通学時間15分以下」の小学生(36.7%)は全国平均正答率を上回っているのに対して、「家を出発してから学校に着くまでに45分～1時間」かかると回答した小学生(3.2%)は、全ての領域で全国平均正答率を下回っています。「通学時間15分以下」の中学生(52.8%)は数学A以外で全国平均正答率を下回りましたが、「通学時間が45分～1時間かかる」中学生(2.4%)の方が全国平均正答率を大きく下回りました。

○家の人と学校での出来事について話しをする ○テレビやゲームをする時間の家族との約束

○家の人と将来のことについて話す

家庭での親子の会話の様子や家庭での躰と学力との相関をみると、「学校での出来事について話しをする(45.6%)」「テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている(29.1%)」「家の人と将来のことについて時々話すことがある(10.8%)」と回答した小学生は、全ての領域で全国平均正答率を上回っています。「学校での出来事についてあまり話しをしない」と回答した小学生も算数Aで全国平均正答率を上回りました。

「学校での出来事について話しをする (46.2%)」と回答した中学生は国語A以外の領域で全国平均正答率を上回りましたが、「学校での出来事についてあまり話しをしない (13.2%)」と回答した中学生の方が国語B、数学A・Bで全国平均正答率を大きく上回っています。ただ、「テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と全く決めていない (37.7%)」「家の人と将来のことについて全く話しをしない (9.9%)」と回答した中学生の方が、全国平均正答率を下回る傾向が見られました。

- 家で、計画を立てて勉強している
- 家で、学校の宿題をしている
- 家で、学校の予習をしている
- 家で、学校の授業の復習をしている

家庭学習の状況と学力の相関をみると、「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した小学生 (35.4%)・中学生 (13.2%) とともに、全ての領域で全国平均正答率を上回っています。「家で、学校の宿題をしている」と回答した小学生 (84.2%)・中学生 (60.4%) とともに全ての領域で全国平均正答率を上回っています。ただ、「家で、学校の宿題をあまりしていない」と回答した小学生 (2.5%) も全国平均正答率を上回っていることから、小学校での宿題の出し方やさせ方についての改善が求められます。

「家で、学校の授業の予習をしている」と回答した小学生 (19%)・中学生 (5.2%) とともに、全ての領域で全国平均正答率を上回っています。ただ、予習を全くしていないと回答した小学生 (13.9%) も国語Aを除いて全国平均正答率を上回っていました。

「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した小学生 (45.6%)・中学生 (18.4%) とともに、全ての領域で全国平均正答率を上回っています。家で、学校の授業の復習を全くしていないと回答した小学生 (6.3%)・中学生 (13.2%) は全ての領域で全国平均正答率を下回りました。

- 学校に行くのは楽しい
- 学級みんなでやり遂げて、うれしかったことがある

学校 (学級) 生活の満足度と学力の相関をみると、「学校に行くのは楽しい」と回答した小学生 (57.6%) は全ての領域で全国平均正答率を上回っています。「どちらかと言えば学校に行くのは楽しいと思わない」と回答した小学生 (9.5%) も算数Aでは全国平均正答率を上回っています。「どちらかと言えば学校に行くのは楽しいとは思わない」と回答した中学生 (9.4%) は全ての領域で全国平均正答率を下回っています。

「学校に行くのは楽しい」と回答した中学生 (45.3%) でも国語A・数学Bで全国平均正答率を下回っています。「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」と回答した小学生 (63.9%) は国語B、算数Aで、中学生 (77.8%) は国語B、数学A・Bで全国平均正答率を上回りました。「やり遂げてうれしかったことがあまりない」と回答した小学生 (6.3%) も算数Bで、中学生 (5.7%) も国語B、数学Aで全国平均正答率を上回りました。

- 地域や社会で起こっている出来事に関心がある
- ボランティア活動に参加した経験

地域社会との関わりと学力との相関をみると、「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」と回答した小学生 (22.8%)・中学生 (17.0%) とともに全ての領域で全国平均正答率を上回っています。「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」と回答した小学生 (47.5%) は、全ての領域で全国平均正答率を上回っています。「参加したことがない」と回答した小学生 (22.2%) も算数Aの領域で全国平均正答率を上回っています。「参加したことがある」と回答した中学生 (50.9%) は国語A以外で全国平均正答率を上回っています。「参加したことがない」と回答した中学生 (21.2%) も数学Aで全国平均正答率を上回っています。

- 新聞を読んでいる

「新聞をほぼ毎日読んでいる」と回答した小学生 (6.3%)・中学生 (9.4%) の方が、「全く読まない」と回答した小学生 (50.6%)・中学生 (60.4%) より全国平均正答率を上回っている領域が多いと言えます。

○原稿用紙2～3枚書くことは難しい

文章を書く力と学力との相関をみると、「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思わない」と回答した小学生(21.5%)・中学生(14.2%)ともに全ての領域で全国平均正答率を上回っています。「難しい」と回答した小学生(29.1%)も算数Aの領域で全国平均正答率を上回っています。「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しい」と回答した中学生は35.8%いました。

○読書が好き

読書と学力の相関をみると「読書が好き」と回答した小学生(56.3%)・中学生(48.6%)ともに全ての領域で全国平均正答率を上回っています。読書は好きではないと回答した小学生は5.7%、中学生は10.8%で、全国平均(小:10.3%・中:13.4%)より少なくなっています。

課題と改善のポイント

保護者・地域の皆様へ

児童生徒の学力については、学校が責任をもって取り組んでおり、教員の指導力向上に向け授業公開や授業研究等、全力を挙げて推進しています。この大前提を押さえた上で、学校での学ぶ力を支えると共に、もっと大きな意味で、大人になっても自ら学んでいくための『土台』を、よりしっかりとしたものにするには、小・中学校時代に学校と家庭が力を合わせて、「家庭学習の習慣をつけるとともに、学びに対する興味や関心を広げること」が、極めて大切です。

家庭学習を定着させるには、「学び」の土台となる「早寝早起きをする」「挨拶をする」「家事を分担する」などの家庭での“しつけ”が重要です。



「あいさつをする・人の話を聞く・相手を思いやる・いじめをしない・時間を守る・靴を並べる・掃除をする」など 大人も子どもも「当たり前の事が当たり前ができる」よう、学校でも、家庭でも、地域でも、取組みましょう。

進んで学ぼうとする力は、『子どもが一番安心できる家庭で、安定した生活リズムの中、毎日学習に取り組む』ことで育ちます。

大人はもう一度足もとを見直し、決してその時々気分や感情に流されず、大人としての責任を自覚して、家庭学習の充実を目指しましょう。改めるべきことは改め、当たり前のことは、当たり前のこととして推し進めるとともに、家庭を学びの環境に整えていきましょう。

- 生活リズムを整え、決まった場所と時間で学習に集中できる環境を
- 認め、励まし、対話のある温かなかわりを



家庭で

学ぶ力 **体の力**

- 基礎学力をつけ、学び方を教え、子どもが思考を巡らす課題や発問が提示される授業を



学校で

心身の健康

～ほめて伸ばそう 子どもの学力～

行政、学校、家庭、地域社会が連携し、
確かな学力向上に努めます。

■教育委員会

- 学校、家庭、地域が一体となって取り組める体制づくりを推進します。
- 外部講師等の協力による継続的な授業の支援を推進します。

■学校

- 現状把握により明確な目標を設定し、学校全体で一つの課題に取り組む体制づくりに努めます。
- 学習への関心・意欲の向上を図り、学習の悩みゼロに努めます。
- 基礎・基本の確実な定着を図るため、指導体制・方法の工夫改善を図ります。
- 児童生徒が発表する場面や体験活動等を充実し、活用力を育てます。
- 家庭や関係機関と連携し、個に応じた特別支援教育の充実を図ります。
- 学校間・校種間の連携と円滑な接続に努めます。
- 予習・復習の仕方や必要性を自覚させ、家庭学習の定着化を図ります。

■家庭

- 『家族の約束7カ条』を推進しましょう。
- 日常生活での積極的なコミュニケーションに努めましょう。
- 規則正しい生活習慣と宿題のみならず、計画的な家庭学習（予習・復習）に取り組みましょう。
※ 小学校6年で毎日70分以上、中学校3年で毎日100分以上取組みましょう。
- 「早寝・早起き・朝ごはん、みんなそろって晩ごはん」を実践しましょう。
- 「ほめて、伸ばす」家庭教育に取り組みましょう。

■地域

- 積極的に子どもたちと触れ合いましょう。
- 学校の応援団として、学校支援ボランティアへ登録しましょう。
- 学校の授業公開へ積極的に参加しましょう。

富良野市学力向上推進プロジェクト

(富良野市PTA連合会・富良野市校長会・富良野市教育委員会)

家族の約束7か条

「すべては子どもたちのために」を合言葉に

1. 学習や生活習慣である「早寝・早起き・朝ごはん・みんなそろって晩ごはん」運動に取り組みましょう。
2. NOテレビ・NOゲーム・NOインターネットの日を設けて家族で読書に親しみ「絆」を深めましょう。
3. 学校行事やPTA活動に積極的に参加しましょう。
4. 子どもの危険信号(SOS)に早く気づき心配事は39-2333番(教育相談直通電話)へ電話しましょう。
5. 携帯電話・インターネットなどのネット被害から子どもたちを守るため「家族のルール」を基本に家族の「絆」を深めましょう。
6. 授業参観や家庭教育(子育て)セミナー、講演会に積極的に参加しましょう。
7. 子育て家庭教育ハンドブックを活用し家族の「絆」を一層深めましょう。

富良野市PTA連合会・富良野市教育委員会

富良野市の学力向上策

全国学力・学習状況調査の結果の公表

- ◎ 「富良野市学力向上推進プロジェクト」の設置、分析結果・授業改善の方策等を掲載した調査結果概要版のHP掲載による市民への公表と、広報「ふらの」への掲載による児童生徒の学習状況の改善、家庭や地域の教育力の向上の推進

全国学力・学習状況調査やほっかいどうチャレンジテスト

- ◎ 全国学力・学習状況調査結果等の分析及び実態把握を踏まえた成果の検証と学校改善プランの見直しによる主体的学習活動を重視した授業改善の取組による指導方法の工夫・改善を含めた学力向上策の促進
- ◎ 全国学力・学習状況調査の過去問題や、ほっかいどうチャレンジテストの授業における積極的活用

標準学力検査

- ◎ 標準学力検査を小学校第2～6学年に対して毎年実施し、経年分析による課題の把握と学び直しの支援

学校改善プラン・学力向上プラン

- ◎ 全国学力・学習状況調査の調査結果の分析を踏まえた学校改善プランの見直しと、学校改善プランに基づく望ましい生活習慣や学習習慣の形成、読書活動の推進による言語活動の充実による児童生徒一人一人に対するきめ細かな指導の実施

学校力・教師力向上の取組

- ◎ 授業スタイル、学習習慣、教室環境等の統一を図り、学校が組織として総合力を高め、教育活動を行う「学校力向上」の取組
- ◎ 主体的・対話的な学びを実現するための問題解決的な学習を位置付けた授業改善を図るとともに、学校間の取組を積極的に発信して教師の指導力向上を図る
- ◎ 地域住民を対象とした地域公開参観日の開催等による、学校の教育活動への理解を深め、学校における指導の充実や児童生徒の学習状況の改善促進、家庭・地域と連携した教育力向上の推進
- ◎ 教職員一人一人の資質向上を図るための「教師力向上研修会」「学力向上サポートセミナー」などの取組の充実
- ◎ 「学力向上改善プラン」における、各学年の定着目標の設定及び基礎学力の定着を図る学期末等の確認テストの実施
- ◎ 「学校教育中期計画」の評価改善を行い、市内小・中学校、教育委員会が一体となった児童生徒の確かな学力向上の取組
- ◎ 学力向上やキャリア教育、ふるさと教育等を重点とした保幼小中高一貫教育の推進

TT、少人数指導・習熟度別指導

- ◎ TT(ティーム・ティーチング)や少人数指導・習熟度別指導などの指導形態の工夫改善により、学習でのつまずきが見られる児童生徒への指導の充実を図るとともにきめ細かな指導を通して基礎学力の向上を図り、各学校の学力の定着と底上げを図る

支援員の配置

- ◎ 児童生徒一人一人の特性に応じた学習支援を行うため、市独自で支援員を各学校に配置し、個別支援の充実によるきめ細かな指導を実施

放課後学習・長期休業中の学習サポート

- ◎ 放課後子ども教室の実施による、放課後の活動の充実と多様な学習機会の提供及び児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導の実施
- ◎ 基礎・基本の確実な定着に向けた学生ボランティアや外部人材を活用した長期休業中における補充的な学習支援の実施

小中連携・小中一貫

- ◎ 中学校教師による小学校への乗り入れ授業(出前授業)の実施や、学習規律の統一など、学びの連続性の充実による中1ギャップの未然防止、小中連携した学力向上の取組
- ◎ 連携教育の充実を図り、「学びの共同体」の実践を生かした校種間・職員間、幼児・児童・生徒の連携や交流の促進
- ◎ 小学校・中学校・高等学校間の連携強化によるキャリア教育の充実

ICT(電子黒板・タブレット・デジタル教科書・実物投影機)

- ◎ ICTを活用した授業の効果的な実施に向けた小・中学校のLAN環境の整備と教材備品の計画的な整備など、児童生徒の学習意欲を高め、効果的な学習活動を実践できる環境の整備

学習習慣・家庭学習・生活習慣

- ◎ PTA等、関係機関と連携した「早寝・早起き・朝ごはん・みんなそろって晩ごはん」運動の推進、「家庭学習の手引」や「生活リズムチェックシート」を活用した児童生徒の望ましい生活習慣・学習習慣の確立、読書時間の確保

コミュニティ・スクール・地域学校協働本部事業

- ◎ 地域との連携による学校運営を目指した全ての小学校におけるコミュニティ・スクールの導入による地域全体で子どもたちを育てていく体制の整備や、学校支援ボランティアを活用した授業中の支援や教育活動の工夫

読書活動・学校図書館

- ◎ 朝読書や読み聞かせ、各教科等における学校図書館の活用や読書週間を設けるなどの読書活動の推進による児童生徒の読書の習慣を身に付ける継続的な取組と市立図書館と学校図書館の相互連携による読書環境の整備

家庭学習・家庭教育・家庭との連携

- ◎ PTA連合会と連携した家庭生活見直しのための「ノーテレビデー・ノーゲームデー」の設定と市民への啓発、家庭における予習や復習の習慣化やスマートフォン・携帯電話の使用について保護者の協力を得ながら家庭におけるルールづくりを推進

英語教育・外国語指導助手

- ◎ 「英語を話せるふらのっ子」を目指し、外国語指導助手による外国語活動や英会話教室の実施、市独自のイングリッシュキャンプの開催
- ◎ 中学校英語教諭の小学校への乗り入れ授業等、小・中学校の連携強化による豊かな語学力とコミュニケーション能力の向上を図る「小中英語連携事業」の推進
- ◎ 「外国語教育巡回指導教員」による小学校教員の英語指導力の向上

学校評価・学校関係者評価

- ◎ 教職員による自己評価や保護者、児童生徒アンケート等の学校関係者評価による教育活動の充実に向けた点検・評価の実施

学習指導の工夫

- ◎ 社会科副読本「ふらの」改訂版の編集及び発行
- ◎ 地域素材の教材化や人材を活用した体験的な活動の充実や総合的な時間との関連性を明確にした教科学習の充実
- ◎ 児童生徒のノートづくりに連動させた「課題」「まとめ」のある板書作成等の工夫改善による授業内容の一層の定着
- ◎ 児童生徒が自ら考え学び行動できる力を養うことを通じた実感をともなった「分かる授業」の創造と言語活動の充実

特別支援教育

- ◎ 特別支援教育支援員の配置及び放課後学習サポート等、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対するきめ細かな教育・指導体制の整備
- ◎ 特別支援連携協議会の開催と教育支援委員会による教育相談体制の充実
- ◎ 通級指導教室の設置によるきめ細かな言語や学習の指導